特集 大田原市の『生涯学習』

問 生涯学習課 本4階 TEL(23)2100

大田原市では生涯学習の普及・啓発のため生涯学習フォーラムを毎年開催していましたが、令和2年度に開催を予定していた第30回生涯学習フォーラムは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

生涯学習フォーラムが中止となってしまったため、今回は生涯学習フォーラムを含めた本市の取り組みについて紹介します。

テレビ出演など多方面で活躍されている井上 広法 氏の基調講演は大盛況でした

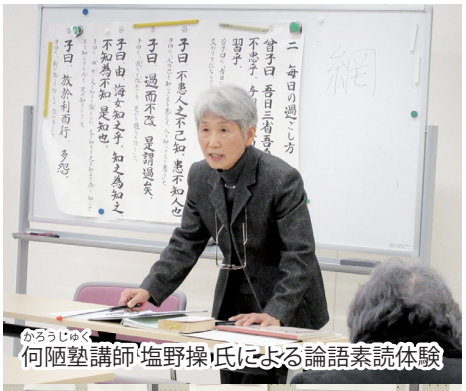
生涯学習フォーラムの第1回目が開催されたのは、今から29年前の平成4年2月15日になります。当時は市総合文化会館で開催していましたが、平成26年から生涯学習センター(元の図書館)に会場を移し、開催しています。

生涯学習フォーラムでは、多種多様な職種の方を講師に招いての講演や、地域の方の実践発表、地域で活動されている方や団体の紹介、作品展示などを行い、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の皆さまが、学習活動に興味を持ち、主体的に学ぶことができるよう、関係機関、団体などと連携しながら生涯学習の基盤づくり、学習機会の充実を図っています。

『生涯学習』って何?

そもそも、生涯学習とは、人が生涯にわたって、自己の充実や啓発、生活の向上などのため、自己に適した手段や方法により行う学習です。その内容は、文化的活動・スポーツ活動・ボランティア活動から職業や資格に関する学習、趣味の習い事など、多岐にわたっています。

市では、平成13年3月に生涯学習社会の実現を目指して「大田原市生涯学習都市宣言」を行っています。また、「学び、活かし、つなぐ まちづくり」を基本理念として大田原市生涯学習推進計画を5年ごとに策定しています。



何陋塾(かろうじゅく)講師 塩野操 氏による論語素読体験

おばあちゃんと一緒に絵手紙教室に参加

市は皆さまの生涯学習を応援します

学習機会の充実のために、関係機関、団体と連携し、各種講座やイベントなどで学びの機会と場の提供に努め、そこで学んだ成果を個人の充実に留めず、活かすことができる仕組みづくりに取り組んでいます。また、市内12地区に地区生涯学習推進協議会を設立し、人や地域をつなぐための活動や、地域で活動する団体やサークルの紹介を行い「絆」を育む地域づくりにも取り組んでいます。

次ページでは、各地区の生涯学習推進協議会の活動の一部を紹介します。

大田原市生涯学習都市宣言
(平成13年3月21日制定)

生きる喜びを見つけよう
だから磨こう
自分らしさを
学ぶ喜びを見つけよう
だから集おう
呼びかけあって
活かす喜びを見つけよう
だから尽くそう
社会のために
ひとが輝き まちが輝く
人間性豊かな大田原市をめざし、ここに生涯学習都市を宣言します。

各地区の生涯学習推進協議会の活動を紹介します

大田原西地区

そば打ち講座を、新そばの時季に合わせて実施しています。講師の指導を受けながらそば打ちをし、講師が打ったそばを全員で試食し、新そばの味を堪能します。大好評の講座ですが、令和２年度はコロナ禍で中止となりました。

大田原東地区

大田原小学校５年生と菊づくりを行いました。コロナ禍の影響で、５月の差し芽は教職員がお手伝いし、６月から児童と一緒に菊づくりをスタートしました。夏休み期間の水やりも行い、協力して綺麗な花を咲かせることができました。

金田南地区

コミセンふれあい夏徳まつりを行っています。地域の方が自由に参加し、交流、親睦、融和を深めています。婦人部のカレー無料配布や、子供育成会のかき氷・輪投げ・シャボン玉・ヨーヨーすくい・スイカ割り・マスつかみ・花火とお菓子の配布を行っています。

金田北地区

協議会設立当初から講演会・バス研修などの活動を行っています。その一つの防災講座では36名が参加し、地域内の災害について学びました。また、バス研修は毎年、定員を超える応募があり、いつも締め切り後に恐縮しています。

野崎地区

郷土米「石上モチ」の継承として、石上小学校の児童が、「石上モチ」の田植えや稲刈りを体験し、歴史や栽培上の難点を学びました。秋の校内マラソン大会の後に保護者や地域の方と餅つきをして昼食を共にしています。

親園地区

しめ縄保存会の指導のもと、令和２年11月26日、しめ縄づくり講習会を行いました。13名の参加者の方は、正月飾りのしめ縄、玉締めを製作しました。慣れない手つきで作り上げた玉締めを手に、満足そうでした。

湯津上地区

平成28年から「縄よじり・豊年棒づくり」を地域の方々と行っています。地域と学校をつなげ、児童に地域の事や伝統行事を伝えるために実施しています。令和２年度はコロナ禍にあって、９月の稲刈りだけでしたが、地域の方々の指導を受けて実施しました。

佐久山地区

令和２年度、福原小学校が佐久山小学校と統合され、長年続いた福原小学校の学校行事「イナゴ捕り」を、地域が引き継ぐこととなりました。活性化協議会青年部を中心に、保護者、児童など大勢の方が参加してくれました。

川西地区

視察研修で、令和元年度は埼玉県秩父市を訪れ、長瀞ライン下りや秩父祭り会館などに足を運び、歴史と文化の奥深さに触れることができました。車中も、参加者同士の和気藹々の雰囲気に包まれ、楽しい一日となりました。

黒羽地区

コロナ禍の中、児童たちに安心・安全な環境で学習に取り組んでもらうよう、地域住民の方々が、放課後に階段の手すりやトイレ・水道・使用した教室などの消毒作業を実施しました。今後も様子を見て実施していきます。

須賀川地区

主な活動として、月１回の「ふれあい広場」を開催しています。年間を通して季節に合った事業を考え、夏休みの宿題・干し柿作り・高齢者交流会・郷土散策などを行い、内容は子どもたちが考えています。

両郷地区

教養講座として、「論語」や「地域の歴史や文化」についての講座を毎年開催しています。写真は市歴史民俗資料館前館長の木村 康夫先生の講話の一コマです。民俗学の観点からの講話ですが、平易な内容で好評でした。